

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 7月 24日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府豊中市新千里西町1-1-4

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
パナソニック ホームズ株式会社
代表取締役 井上二郎
(代理人)湖東工場長 鶴長 寛之

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)し、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	パナソニック ホームズ株式会社 代表取締役 井上 二郎
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府豊中市新千里西町1-1-4

1 事業者の概要

事業所の名称	パナソニック ホームズ株式会社 湖東工場								
事業所の所在地	滋賀県東近江市下岸本町10								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	4	4	4	※ 産業分類・細分類名称を記載 鉄骨系プレハブ住宅製造業			
事業の概要	製造業、金属製品製造業、建設用・建築用金属製品製造業、 鉄骨系プレハブ製造業								
従業員の数	582	人	操業時間	8	時間/日				
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、 二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	4	台	照明設備	約6,000	台
	コンプレッサ	14	台	空気調和設備	350	台	その他	集塵機	10台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2021	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了 年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

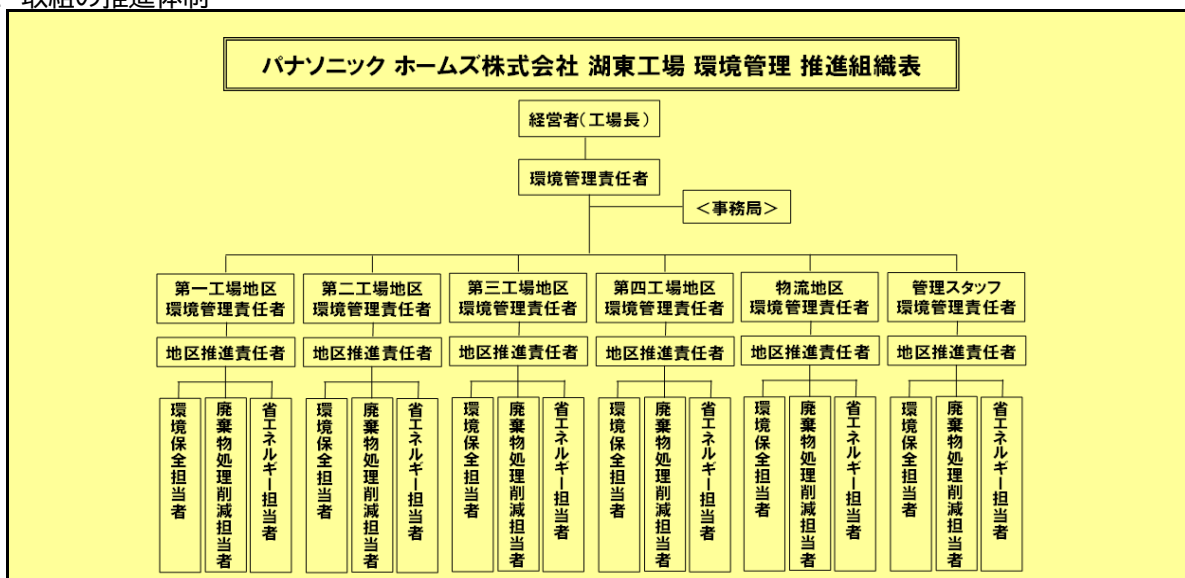
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

■パナソニック ホームズ グループ 環境方針

私たちは、お客様のくらしの夢にお応えし、生涯のご満足をお届けするとともに、大切な資産として受け継がれていく住まいのご提供により、地球の未来と住生活文化の発展に貢献し、スマートなくらしの価値を生み出す Only One の住宅会社をめざします。

- 環境に配慮した商品開発と邸別設計により、快適なくらしと環境負荷低減の両立を図ります。
- 住まいづくりにかかわる全ての事業活動の持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び適応、並びに生物多様性及び生態系の保護に努めます。(建材・設備の調達～住宅部材製造～建設～メンテナンス～リフォーム～解体)
- 環境関連法規制および同意したその他の要求事項を順守します。
- 環境方針を達成するために、環境目標を設定し実施するとともに見直しを行います。
- 環境にかかわる活動の継続的改善と汚染の予防に努めます。
- 全社員が環境活動に取り組めるよう、この方針を周知し、教育および啓発活動に努めます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

■2020年度CO₂削減の主な取組み

<省エネ改善率 ▲10.0%>

- ①第1工場 野縁受MT化によるロール1号ライン稼働停止による電力使用量削減
- ②第2工場 粉体塗装ラインの生産性向上に伴うエネルギー使用の効率化
- ③第3工場 人員配置の見直しによる1棟当り生産性向上 等

■2019年度CO₂削減の主な取組み

<省エネ改善率 ▲9.8%>

- ①生産エリア再編(構内請負ライン)による生産性向上とエネルギーロス削減
- ②第2工場粉体塗装ラインの生産性向上に伴うエネルギー使用の効率化
- ③物流倉庫レイアウト変更に伴う作業改善による省エネ 等

■2018年度CO₂削減の主な取組み

<省エネ改善率 ▲9.7%>

- ①第2工場粉体塗装ラインの生産性向上に伴うエネルギー使用の効率化
- ②第3工場大型外壁パネル面材供給位置決め装置改造による省エネ
- ③第4工場石膏ボード加工ライン設備スピードアップによる生産性向上 等

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	エネルギー改善	生産プロセス改善、生産性向上によるエネルギー効率化(2倍速モノづくり、自動化、生産方式変更)	2021-2023年	2022年 375t-co2削減
2	運用改善	省エネ委員会活動推進(エアリーク、空転ロス対策など)	2021-2023年	2022年 181t-co2削減
3	エネルギー改善	生産設備改善による生産エネルギー効率化(ボイラー燃焼効率改善、見える化によるロス削減)	2021-2023年	2022年 101t-co2削減
4	運用改善	管理強化による使用エネルギー削減(コンプレッサー、空調運転など)	2021-2023年	2022年 40t-co2削減
5	設備導入	高効率機器の導入、更新による省エネ(インフラ施設)	2021-2023年	2022年 40t-co2削減
6	運用改善	工場付帯施設の運用効率化による省エネ	2021-2023年	2022年 7t-co2削減
7	運用改善	構内物流改善による物流エネルギー効率化	2021-2023年	2022年 5t-co2削減

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		無し	-	-
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>CO₂排出量は生産増減の影響を受けるため、CO₂排出量を分子に生産高(金額)を分母としたCO₂生産高原単位を管理指標として設定しています。【計算式】「CO₂生産高原単位 = CO₂排出量(t-co₂) / 生産高(億円)」</p> <p>上記の取組により、20年度に対し年1%以上の削減を目指します。</p> <p><年度> <原単位></p> <p>2021年 19.1t-co₂/億円(対前年▲1.0%以上)</p> <p>2022年 18.9t-co₂/億円(対前年▲1.0%以上)</p> <p>2023年 18.7t-co₂/億円(対前年▲1.0%以上)</p> <p>なお、CO₂排出量の算出にあたり、電力の排出係数は社内で統一された固定係数を適切に使用します。</p>	<p>2022年度の生産高原単位は、計画18.9t-co₂/億円に対し、実績14.8t-co₂/億円で、計画達成となりました。(達成率127%)</p> <p>これは全従業員による省エネ改善と生産性向上活動等により年間749t-co₂(対前年排出量の14.3%)のCO₂削減活動に取組みました。引き続き更なる改善を目指して継続的な活動を展開して参ります。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,005	3,270	3,129		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	4,601	5,235	4,371		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	4,601	5,235	4,371		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移		19.3	16.7	14.8		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	PPAを活用した、太陽光発電システム導入(STEP.1)	2023年～	2023年10月着工 2024年4月発電開始
2	太陽光発電システム導入(STEP.2)	2024年～	2024年10月着工(予定) 2025年4月発電開始(予定)
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電システム導入(STEP.3)2025年～ ※STEP1・2での実績をもとに検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	現在はありません				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0		

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
弊事業所はパナソニックホームズの住宅部材を生産する工場です。 私たちは地球環境にやさしい環境性能でスマートな暮らしの価値を生み出すOnly Oneの住宅会社をめざしています。 家庭部門のCO ₂ 排出量の削減に貢献すべく、住まいの環境性能の向上と、住まいづくりを通じて、環境に配慮したライフスタイルの実現に取り組んでいきたいと考えています。 【主な取組み】 パナソニックホームズは、ZEHの普及はもちろん、高い断熱性能と先進の創エネ・省エネ技術で、ZEHを上回る環境性能を実現する住まい「ゼロエコ」をご提案しています。	左記の取組み達成に向け、工場として生産性を高め、省エネ活動に取り組んでいます。
	CO ₂ 削減貢献量
	5,223.0 t-CO ₂ (2021年度実績)

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
2025年度にZEH普及率85%以上を目標に環境性能の高い商品(住宅)をより多くのお客様に提供することで、お客様の日々の生活を通して、商品の使用段階における消費エネルギーとCO ₂ 排出量を削減し、低炭素社会づくりに貢献することを目指しています。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
2025年度、ZEH普及率85%以上の目標に対し、2022年度は80%の実績です。 引き続き目標に向け取り組んでいきます。
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
基準一次エネルギーと(設計一次エネルギー+太陽光発電量)の差の熱量を電力換算後、CO ₂ 削減貢献量を算出 ・「基準一次エネルギー(299,232GJ)」 - 「(設計一次エネルギー(224,082GJ)) + 「発電設備の発電量のうち自家消費分(31,491GJ)」 - 「発電量(太陽光発電)」(68,845GJ)) = 112505 GJ ・112505 GJ × 0.009757 (GJ/kWh) × 0.000453 t-CO ₂ /kWh(2022年度 電力係数(代替値)) = 5223t-CO ₂ ※上記は2021年度の実績となります(2022年度は現在集計中)

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2021)年	(2022)年	(2023)年	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	4,601	5,235	4,849			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	0	0	0			
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.340	0.350	0.350			
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2021)年	(2022)年	(2023)年	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施 スケジュール	
1	運用改善	構内物流改善による物流エネルギー効率化	2021-2023年	2022年 5t-co2削減
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(2021)年	(2022)年	(2023)年	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	1	1	1			
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0	0	0			
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	EMSの更新及びサーベイランス審査による継続	2021-2023年	2023年1月 サーベイランス審査実施
2				
3				
4				
5				